

平成28年度 横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラム

横浜ひなたやま支援学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定め、1年間取り組んだ。ここに検証結果を報告する。

項 目		目 標	行 動 計 画	検 証 結 果
1	公務外非行の防止	公務外であっても、公務員として自覚ある行動をする。	職員行動指針の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に「職員行動指針」を配付し、全員で共通認識できるよう学校長より説明、報告があった。 ・職員打合せや不祥事防止会議において、職員行動指針に基づいて具体的な取り組みを全職員で確認するなど、常に意識を高める努力をした。
			啓発資料等により、法令遵守意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員打合せにおいて、啓発・点検資料について説明した上で、10項目点検「再点検！職員行動指針～私たちの規律編～」を行った。 ・不祥事防止会議では、10項目点検の集計結果や教育長通知、啓発資料を報告し、法令遵守すること、高い倫理観をもって行動することを周知した。
2	わいせつ・セクハラ行為の防止	子どもの人権について理解を深め、わいせつ・セクハラ行為等を防止する。	わいせつ・セクハラ行為等を中心に10項目の定期点検検証を実施する	<p>9月5日(月)実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果を報告した。アンケート結果については人との距離が近いとかプライベートな話をするなどの答えがあった。指導上必要な場合もあるが誤解を招かないように心がけ、悩んだときは周囲に相談しやすい職場作りを心がけることを職員全体で確認した。
3	体罰、不適切な指導の防止	体罰や不適切な指導についての本質的な理解を深め、防止する。	研修会の実施	<p>12月20日(火)実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性的マイノリティーに関する知識を得ることで、教員(学校)が様々な「性の在り方」を認識する機会となった。また、子どもへの自尊感情の向上を促すサポートや人権感覚を養う学校の環境づくりなど体罰、不適切な指導に対する予防的観点を学ぶことができた。
4	進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の保護等についての理解を深め、適切な情報管理を遂行する。	文書管理に係るルール周知と点検	<p>11月18日(金)、3/23(木)実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果、個人情報の収集方法、個人情報の持ち出しの許可を得る方法等は、ほとんどの職員が趣旨を理解し、実行している。また、シュレッダー処理については、シュレッダーにかける前に見直すよう、注意喚起の張り紙を掲示した。引き続き、生徒の個人情報の適切な扱い等を確認し、事故の無いよう徹底していく。
5	交通事故・交通違反の防止	法令遵守の意識を持ち、交通事故、飲酒運転等を防ぐ。	啓発資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・10項目点検「再確認！神奈川県職員行動指針 交通事故防止・交通法規の遵守」に基づき、使用前点検や自転車の使用(事故の処分)など日常的に気を付けることを全職員で確認できた。
6	業務執行体制	これまでの本校の事故を振り返り、情報共有を図るとともに、事故防止に向けた意識を高める。	事故報告書の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・10項目点検最終検証を行い、全職員で共有することができた。 <p>事故発生後の対応について整理し、事故報告書については記入例を示すことにより、初期対応から再発防止策、未然防止策の検討まで一貫して行われる流れを全職員で共有、確認できた。</p>